



# **LAN-Serial Adapter**

## **TRN-1**

# **TRN-1 Driver**

---

## **取扱説明書**

お買い上げありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みいただき、  
正しくお使いください。

# 取扱説明書に関する注意事項

---

- 本書の著作権は、株式会社ティアンドデイに帰属します。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本書を運用した結果の影響については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については予告なく変更することがあります。
- 本書をよくお読みいただき、内容を理解してからご使用ください。
- 本書の安全に関する指示事項には、必ず従ってください。
- 製品本来の使用方法ならびに本書に規定した方法以外でお使いになった場合、安全性の保証はできません。
- 本書に記載した画面表示内容と、実際の画面表示が異なる場合があります。
- 本書に記載した図は、一部を省略したり抽象化して表現している場合があります。
- 本書の内容について、不審な点やお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

Microsoft®, Windows®, WindowsNT® は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

# 設定の流れ

## ◆取扱説明書の構成

LAN- シリアルアダプタ TRN-1 の取扱説明書は、次の 4 部構成になっています。

### 1. TRN-1 取扱説明書

TRN-1 の概要および設置について、また TRN-1 を設定・管理する専用ソフトウェア、LAN アダプタ設定ユーティリティについて説明しています。

### 2. TandD Lanware 取扱説明書

TRN-1 を通して LAN に接続したデータロガー（TR-5/TR-7 シリーズ）を操作・管理する専用ソフトウェアについて説明しています。

### 3. TandD Lanware WL7 取扱説明書

TRN-1 を通して LAN に接続したデータロガー（RTR-7/RVR-7）を操作・管理する専用ソフトウェアについて説明しています。

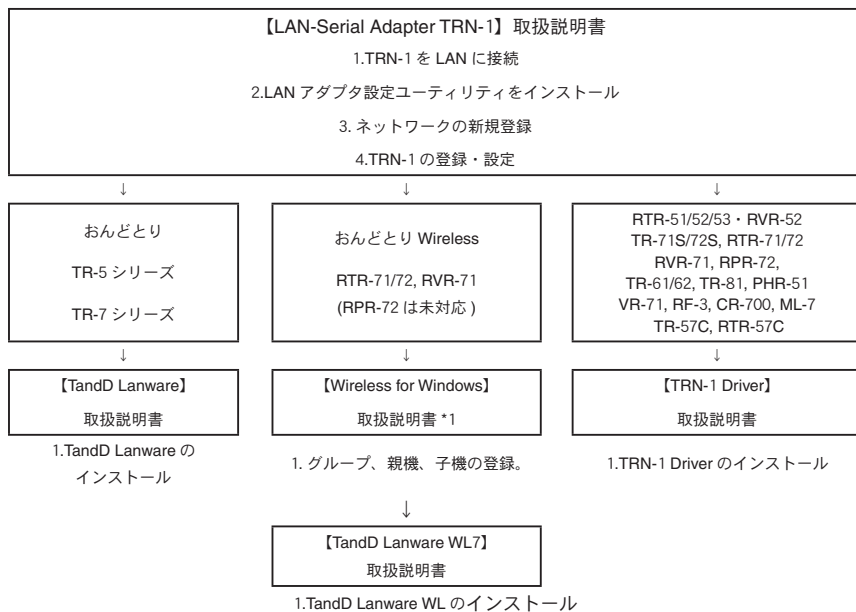
### 4. TRN-1 Driver 取扱説明書

LAN に接続した TRN-1 のシリアルポートをパソコンのシリアルポートとして使用するための専用ソフトウェア、TRN-1 Driver について説明します。

## ◆全体の流れ

通信するデータロガーによって、使用ソフトが変わってきます。

下記の図に従い、取扱説明書を参考に設定を行ってください。



\* 詳細は、同梱の各取扱説明書をご覧ください。

\*1 Wireless for Windows については、Wireless for Windows に付属の取扱説明書をご覧ください。

# 付属ソフトウェアの利用規約

---

## 【著作権】

1. TRN-1 Driver（プログラム及び関連ドキュメントを含める）の著作権は、株式会社ティアンドデイ（以降、弊社と表記）に帰属します。
2. 転載及び、雑誌・商品などを添付して再配布する場合には、弊社の承諾を必要とします。再配布については、弊社営業部までご連絡ください。
3. TRN-1 Driver には、改変を加えないでください。

## 【免責事項】

1. 株式会社ティアンドデイ（以降、弊社と表記）は、TRN-1 Driver によりご利用者に直接または間接的障害が生じても、いかなる責任賠償等を負わないものとします。
2. TRN-1 Driver はご利用者へ事前の連絡なしに仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。その場合、TRN-1 Driver をご利用いただけなかったり、ご利用者に直接または間接的障害が生じた場合でも、弊社はいかなる責任賠償等は負わないものとします。
3. 弊社は、TRN-1 Driver に不備があっても訂正する義務は負わないものとします。
4. 弊社は、TRN-1 Driver に関して動作保証をいたしません。

# 目次

---

## はじめに

取扱説明書に関する注意事項	i
設定の流れ	ii
付属ソフトウェアの利用規約	ii

## ご使用になる前に

TRN-1 Driver とは	1
動作環境の確認	2
ソフトウェアのインストール	3

## 基本的な使い方

ソフトウェアの起動と終了	4
TRN-1 を追加購入された場合	5
メイン画面	6
TRN-1 を COM ポートとして登録	7
COM ポートの宛先 IP の変更	8
COM ポートの接続テスト	9
COM ポートの使用	10
COM ポートの削除	11
オプションの設定	12

## その他

ソフトウェアのアンインストール	15
ソフトウェア仕様	16
困ったときには	17



## 対象データロガー

小型防水データロガー無線通信タイプ RTR-51/52/53・RVR-52,  
データロガー無線通信タイプ RTR-71/72・RVR-71・RPR-72, 温湿度データロガー TR-71S/72S  
モデム内蔵計装用データロガー ML-7, 電圧データロガー VR-71, 食品用温度データロガー TR-61/62,  
雨量記録監視装置 RF-3, 電流データロガー CR-700, 照度データロガー PHR-51,  
広範囲温度データロガー TR-81, ハンディ収集器 TR-57C, RTR-57C

## ⚠ 注意

- RTR-71/72・RVR-71・RPR-72 は、すでに親機として設定が済んでいるものを TRN-1 に接続してください。親機として設定されていないと LAN に接続して使用することはできません。
- パソコン 1 台につき、コントロール可能な RTR-71/72・RVR-71・RPR-72 の親機は 1 台のみです。

# 動作環境の確認

## ◆動作環境の確認

本製品を使用できる環境は、次の通りです。

動作環境 OS	Microsoft Windows® 98/Me 日本語版 Microsoft Windows® NT 4.0 日本語版 Microsoft Windows® 2000/XP 日本語版
パソコン／CPU	Pentium 90MHz 以上搭載の AT 互換機または NEC 98 シリーズ LAN・TCP/IP 通信が使用可能
メモリ容量	32MB 以上
ディスク領域	4MB 以上の空き領域（データは別途空き領域が必要）
モニタ	VGA（SVGA（800 × 600）以上推奨）・256 色以上表示可能
LAN	100BASE-TX または 10BASE-T カテゴリ 5 準拠ツイストペアケーブル（STP/UTP）

## ◆使用前の準備

以下の準備ができていることを確認してください。

▶ 各項目の詳しい説明・設定等については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。

### 1 TRN-1

- TRN-1 を LAN に接続する。
- TRN-1 の電源プラグをコンセントに差し込む。

### 2 LAN アダプタ設定ユーティリティ

- 「ネットワーク」を登録する。
- TRN-1 の動作モードを仮想 COM モードに設定する。

# ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM からインストールプログラムを起動し、インストールを行います。

## ▲注意

再インストールする場合は、前回インストールした TRN-1 Driver をアンインストールしてから、再インストールしてください。アンインストールの方法については、p.15「アンインストール」を参照してください。

- 1 Windows® を起動します。
- 2 すべてのプログラムを終了させます。ウィルスチェックプログラムなどの常駐ソフトも、起動している場合は終了させてください。
- 3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。しばらくすると、インストールプログラムが起動し、スタート画面が開きます。
  - 自動的に起動しない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「マイコンピュータ」ウィンドウで CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。
- 4 「TRN-1 Driver のインストール」をクリックし、「実行」ボタンをクリックします。



- 5 画面に表示される指示に従い、インストールを行います。

インストールが正常に終了すると、「スタート」メニュー→「プログラム」に「TRN-1 Driver」が登録され、スタートアップフォルダに TRN-1 Driver のショートカットが登録されます。

Windows 起動時には、TRN-1 Driver が自動的に起動します。自動的に起動したくない場合は、スタートアップフォルダから TRN-1 Driver のショートカットを削除してください。

これでインストールは終了です。



# ソフトウェアの起動と終了

## ◆ソフトウェアの起動

- 1 Windows の「スタート」メニューより、「すべてのプログラム」→「TRN-1 ユーティリティ」→「TRN-1 Driver」を選択します。TRN-1 Driver が起動し、タスクバーにアイコンを表示します。



- 2 タスクバーの TRN-1 Driver アイコンをダブルクリックします。メイン画面が表示されます。

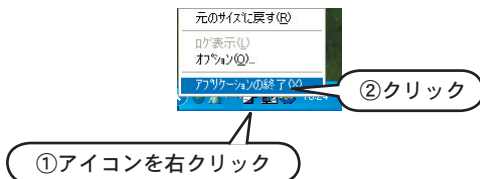


## ◆ソフトウェアの終了

### ⚠ 注意

TRN-1 Driver を終了すると、TRN-1 Driver で登録した COM ポートは使用できなくなります。

- 1 タスクバーの TRN-1 Driver アイコンを右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。
- 2 ポップアップメニューから「アプリケーションの終了」を左クリックして選択します。  
TRN-1 Driver が終了します。



- メイン画面が起動しているときは、メイン画面のメニューより「接続」→「アプリケーションの終了」を選択して終了することもできます。



## TRN-1 を追加購入された場合

---

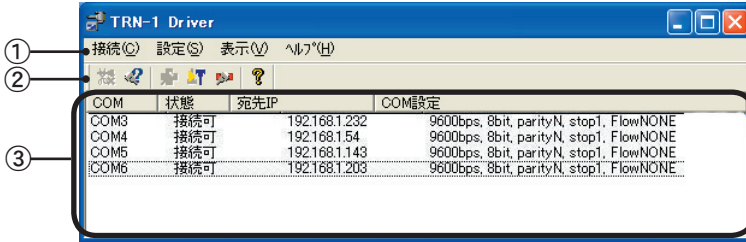
TRN-1 を追加で購入された場合、既存の「TRN-1 Driver Ver.1.00」を「Ver.3.00」にアップグレードしてからご使用ください。「Ver.1.00」のままご使用になりますと、追加した TRN-1 が認識されない場合があります。

- 1 既存の TRN-1 の COM ポートを削除します。  
(P11「COM ポートの削除」参照)
- 2 「TRN-1 Driver Ver.1.00」をアンインストールする。  
(P15「ソフトウェアのアンインストール」参照)
- 3 「TRN-1 Driver Ver.3.00」をインストールする。  
(P3「ソフトウェアのインストール」参照)
- 4 既存の TRN-1 と追加する TRN-1 を COM ポートとして登録する。  
(P7「TRN-1 を COM ポートとして登録」参照)

### 注意

このとき、「同時に TRN-1 の設定も行う」チェックボックスに、必ずチェックを入れてください。

# メイン画面



## ①メニューバー

- 「接続」には、次のコマンドが含まれています。
  - 「切断」 接続中の TRN-1 を強制切断します。
  - 「接続テスト」 未接続の TRN-1 について、接続可能かテストします。
  - 「アプリケーションの終了」 TRN-1 Driver を終了します。終了時、設定情報などが保存されます。
- 「設定」には、次のコマンドが含まれています。
  - 「新規登録」 TRN-1 を COM ポートとして登録します。
  - 「更新」 登録した COM ポートの設定内容を変更します。
  - 「削除」 登録した COM ポートを削除します。
  - 「オプション」 オプションを設定します。
- 「表示」には、次のコマンドが含まれています。
  - 「ログ表示」 ログの表示・非表示を指定します。
  - 「ツールバー」 ツールバーの表示・非表示を指定します。
- 「ヘルプ」には、次のコマンドが含まれています。
  - 「バージョン情報」 TRN-1 Driver のバージョン情報を表示します。

## ②ツールバー



1 2 3 4 5 6

1：切断      2：接続テスト      3：新規登録      4：更新      5：削除      6：バージョン情報

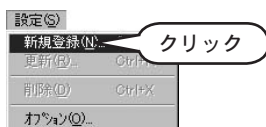
## ③登録リスト

- 登録されている COM ポートの情報を表示します。
- 「COM」 COM ポート番号を表示します。
  - 「状態」 ポートが接続中か、切断されているか表示します。
  - 「宛先 IP」 COM ポートと対応している TRN-1 の IP アドレスを表示します。
  - 「COM 設定」 COM ポートに設定されている通信パラメータを表示します。

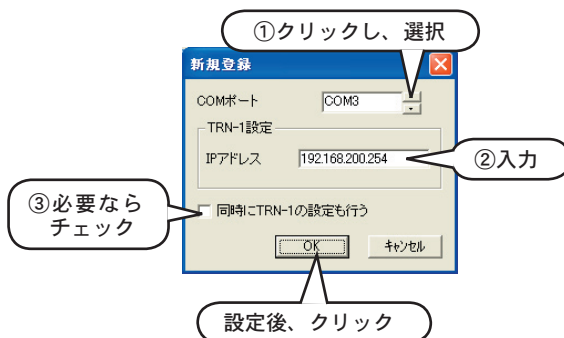
# TRN-1 を COM ポートとして登録

TRN-1 をパソコンの仮想シリアル (COM) ポートとして使用するために、TRN-1 を COM ポートとして登録します。1 台のパソコンにつき 32 台まで TRN-1 を登録できます。

- 1 メイン画面の登録リストで TRN-1 を選択していない状態で、メニューより「設定」→「新規登録」を選択します。「新規登録」ダイアログが表示されます。



- 2 各項目を入力します。



- ①「COM ポート」

COM ポート番号を選択します。

## ⚠ 注意

- COM1 などの既存のポート番号および、TRN-1 Driver ですでに登録されている COM ポート番号は選択できません。
- データロガーを接続できるポート番号は、データロガー付属ソフトウェアで指定できるポート番号に限定されます。使用可能なポート番号については、お使いになるデータロガーの付属ソフトウェアで確認してください。

- ②「IP アドレス」

COM ポートと対応させる TRN-1 の IP アドレスを入力します。この IP アドレスには、LAN アダプタ設定ユーティリティで TRN-1 に設定した値を入力してください。

- ③「同時に TRN-1 の設定も行う」

TRN-1 の動作モードには、「LAN モード (TandD Lanware で使用)」と「仮想 COM モード (TRN-1 Driver で使用)」の 2 種類があります。チェックボックスをチェックすると、「仮想 COM モード」に設定されます。「仮想 COM モード」に設定すると、TRN-1 に自動的にサーバープログラムをダウンロードします。

## ⚠ 注意

TRN-1、1 台につき必ず 1 回はチェックしてプログラムをダウンロードしてください。

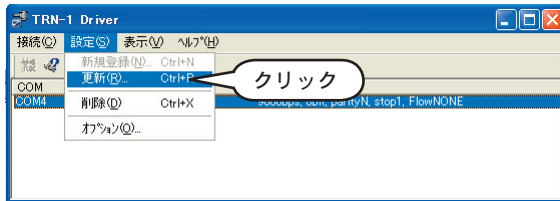
- ▶ IP アドレス、動作モードの詳しい説明については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。

- 3 「OK」ボタンをクリックします。設定した値は登録リストに表示されます。

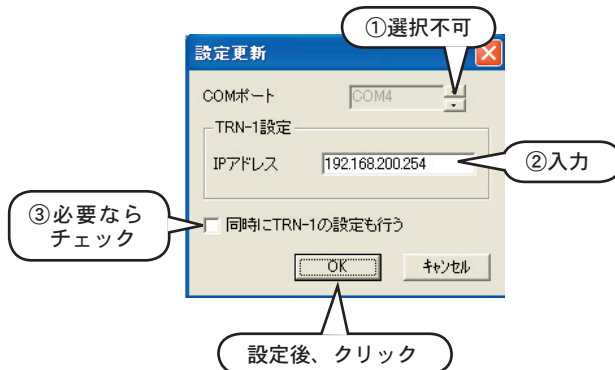
# COM ポートの宛先 IP の変更

登録した COM ポートの宛先 IP を変更します。宛先 IP を変更すると、COM ポートに対応する TRN-1 を入れ替えられます。

- 1 メイン画面の登録リストで、IP アドレスを変更する TRN-1 をクリックして選択します。
- 2 メニューより「設定」→「更新」を選択します。「設定更新」ダイアログが表示されます。



- 3 各項目を入力します。



## ① 「COM ポート」

COM ポート番号は変更できません。

## ② 「IP アドレス」

COM ポートと対応させる TRN-1 の IP アドレスを入力します。この IP アドレスには、LAN アダプタ設定ユーティリティで TRN-1 に設定した値を入力してください。

## ③ 「同時に TRN-1 の設定も行う」

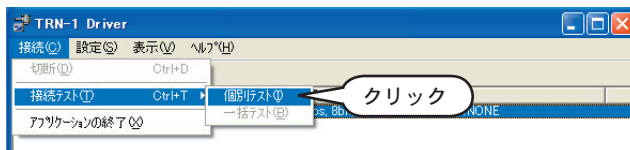
TRN-1 の動作モードには、「LAN モード (TandD Lanware で使用)」と「仮想 COM モード (TRN-1 Driver で使用)」の 2 種類があります。チェックボックスをチェックすると、「仮想 COM モード」に設定されます。「仮想 COM モード」に設定すると、TRN-1 に自動的にサーバプログラムをダウンロードします。TRN-1、1 台につき必ず 1 回はチェックしてプログラムをダウンロードしてください。

▶ IP アドレス、動作モードの詳しい説明については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。

- 4 「OK」ボタンをクリックします。設定した値は登録リストに表示されます。

# COM ポートの接続テスト

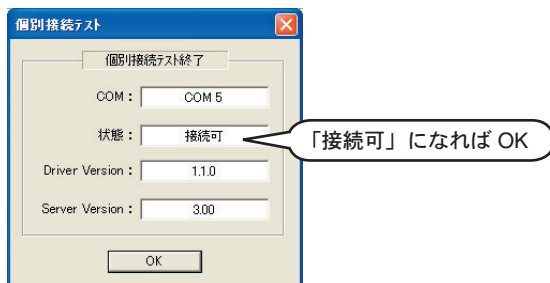
- 1 メイン画面の登録リストで、接続テストをする COM ポートをクリックします。
- 2 メニューより「接続」→「接続テスト」→「個別テスト」を選択します。接続テストが開始します。



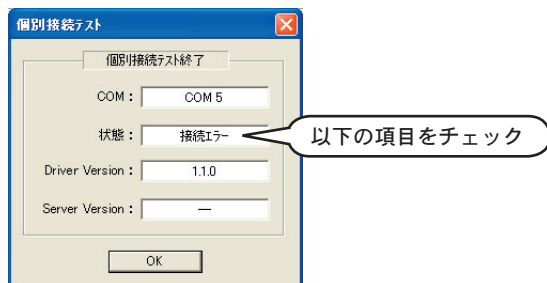
「個別接続テスト」ウィンドウが表示されます。数秒間お待ちください。



COM ポートが使用可能であれば、「個別接続テスト」ウィンドウの「状態」が「接続可」になります。[OK] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



- 「接続エラー」と表示される場合、以下を確認してください。



- 1 TRN-1 本体が「仮想 COM モード」に設定されているか。
  - ▶ 詳細については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。
- 「接続可」と表示されない場合、以下を確認してください。
  - 1 TRN-1 本体が正しく接続・設定され、動作しているか。
    - ▶ 詳細については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。
  - 2 「宛先 IP」に、LAN アダプタ設定ユーティリティで TRN-1 に設定した IP アドレスが表示されているか。
    - ▶ 「宛先 IP」の変更方法については、p.8 「COM ポートの宛先 IP の変更」を参照してください。
  - 3 「COM」に、使用可能な COM ポートが表示されているか。
    - ▶ 詳細については、p.7 「TRN-1 を COM ポートとして登録」を参照してください。
  - 4 TRN-1 Driver の「Driver Version」と、「Server Version」が正しい組み合わせか。
    - ▶ 詳細については、p.7 「TRN-1 を COM ポートとして登録」を参照してください。  
(その際、「同時に TRN-1 の設定も行う」にチェックをしてください。)

## COM ポートの使用

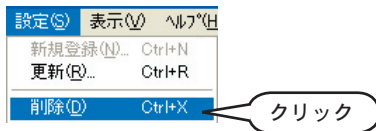
TRN-1 と対応している COM ポートは、データロガー付属ソフトウェアで使用できます。COM ポートの指定方法などについては、各データロガーの取扱説明書、および各データロガー付属ソフトウェアのヘルプを参照してください。

### ⚠ 注意

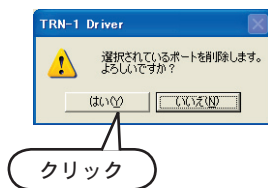
1 台のパソコンで複数の TRN-1 をシリアルポートとして使用している場合、データロガーのデータ吸い上げ時には、その都度ポートを切り換える必要があります。

# COM ポートの削除

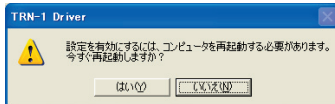
- 1 メイン画面の登録リストで、削除する TRN-1 をクリックします。
- 2 メニューより「設定」→「削除」を選択します。確認ダイアログが表示されます。



- 3 「はい」をクリックします。TRN-1 の登録を解除し、メイン画面の登録リストから TRN-1 を削除します。
  - 「いいえ」を選択すると、解除および削除は行われずにメイン画面に戻ります。



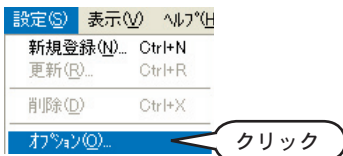
- 4 設定を有効にするためには、コンピュータを再起動する必要があります。すぐに再起動する場合は「はい」を、あとで再起動する場合は「いいえ」をクリックします。





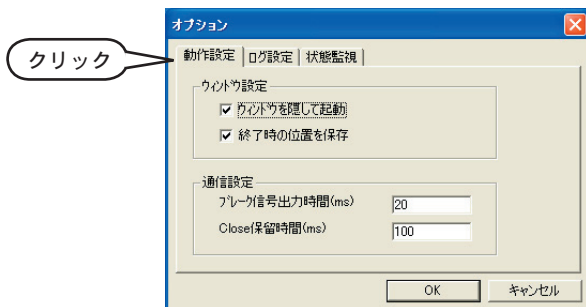
# オプションの設定

メイン画面のメニューより、「設定」→「オプション」を選択します。「オプション」ダイアログが表示されます。



## ◆動作設定

「動作設定」タブをクリックします。



### ●ウィンドウ設定

- ・「ウィンドウを隠して起動」

チェックボックスをチェックすると、TRN-1 Driver 起動時にメイン画面を表示しません。チェックを外すと、起動時にメイン画面を表示します。（どちらの場合も、タスクバーに TRN-1 Driver アイコンを表示します。）デフォルトではチェックされています。

- ・「終了時の位置を保存」

チェックボックスをチェックすると、TRN-1 Driver 終了時にメイン画面の位置とサイズを保存しておき、次回起動時に同じ位置とサイズで起動します。チェックを外すと、デフォルトの位置とサイズで起動します。デフォルトではチェックされています。

### ●通信設定

- ・「ブレーク信号出力時間」

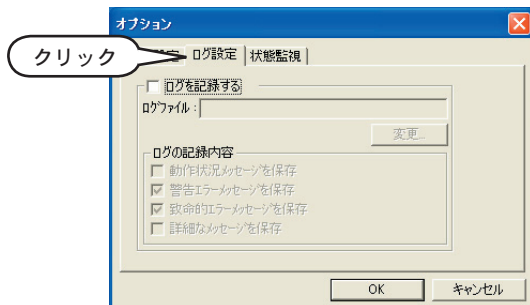
正常に通信できる状態に設定済みですので、変更しないでください。

- ・「Close 保留時間」

正常に通信できる状態に設定済みですので、変更しないでください。

## ◆ログ設定

「ログ設定」タブをクリックします。



### ●「ログを記録する」

チェックボックスをチェックすると、指定したファイルにログを記録します。「ログファイル」以降の設定は、このチェックボックスをチェックすると有効になります。デフォルトではチェックされていません。

### ●「ログファイル」

ログを記録するファイル名を指定します。「変更」ボタンをクリックすると「ログファイルの選択」ダイアログが表示されます。「ファイル名」テキストボックスでファイル名を指定して、「開く」ボタンをクリックします。

ログファイルはテキスト形式で保存されますので、テキストエディタなどで参照できます。

### ●「ログの記録内容」

ログファイルに記録する内容を選択します。デフォルトでは「警告エラーメッセージを保存」および「致命的エラーメッセージを保存」がチェックされています。

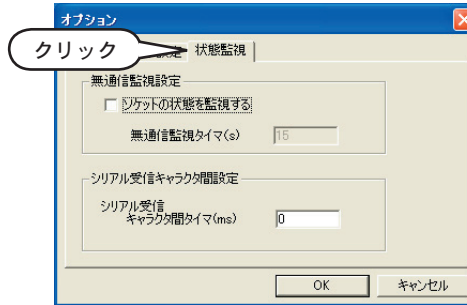
動作状況メッセージ	一般的な動作状態のログ
警告エラーメッセージ	復旧可能なエラー発生ログ
致命的エラーメッセージ	致命的なエラー発生ログ
詳細メッセージ	詳細な動作状態のログ

### ⚠ 注意

ログファイルは常に追加で書き込まれます(上書きではありません)。そのため、ディスク容量が十分あることを確認してください。ディスク容量が十分でない場合には、ログの記録を停止するか、あるいは記録内容を制限してください。

## ◆状態監視

「状態監視」タブをクリックします。



### ●無通信監視設定

- ・「ソケットの状態を監視する」

正常に通信できる状態に設定済みですので、変更しないでください。

- ・「無通信監視タイム」

正常に通信できる状態に設定済みですので、変更しないでください。

### ●シリアル受信キャラクタ間設定

- ・「シリアル受信キャラクタ間タイム」

正常に通信できる状態に設定済みですので、変更しないでください。

# ソフトウェアのアンインストール

## ◆アンインストールする前に

- 1 TRN-1 Driver で登録した COM ポートはすべて削除してください。

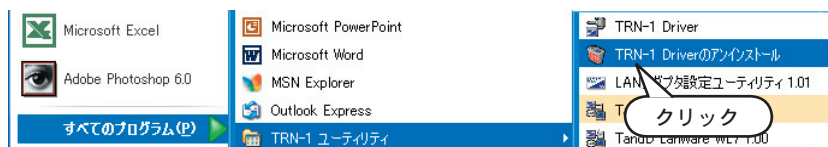
### ⚠ 注意

COM ポートを削除しないでアンインストールし、その後、再インストールすると、TRN-1 本体が故障する恐れがあります。

- 2 TRN-1 Driver を終了してください。

## ◆アンインストール

- 1 Windows の「スタート」メニューより、「すべてのプログラム」→「TRN-1 ユーティリティ」→「TRN-1 Driver のアンインストール」を選択します。



- 2 画面に表示される指示に従い、アンインストールを行います。

# ソフトウェア仕様

対応機種

		XP	2000	NT4.0	98	Me
①	TR-7S シリーズ	○	○	○	○	○
②	VR-71	×	×	×	○	○
③	RTR-71/72・RVR-71・RPR-72	○	○	○	○	○
④	TR-61/62	×	○	○	○	○
⑤	TR-81	○	○	○	×	×
⑥	PHR-51	○	○	○	×	×
⑦	RF-3	×	×	×	○	○
⑧	CR-700	○	○	○	×	×
⑨	ML-7	○	○	○	○	○
⑩	TR-50C+TR-5 シリーズ	○	○	○	○	○
⑪	TR-50C+RTR-51/52/53・RVR-52	○	○	×	○	○
⑫	TR-57C+TR-5 シリーズ	○	○	×	○	○
⑬	TR-57C+RTR-51/52/53・RVR-52	○	○	×	○	○
⑭	RTR-57C+TR-5 シリーズ	○	○	×	○	○
⑮	RTR-57C+RTR-51/52/53・RVR-52	○	○	×	○	○
⑯	TR-57C	○	○	×	○	○
⑰	RTR-57C	○	○	×	○	○

最大ポート数 32 ポート ( 既存ポートは利用不可 例 : COM1 等 )

## △ 注意

最大で 32 ポートまで登録できますが、実際に利用できるポートは、各データロガー付属ソフトウェアで選択できるポートに限定されます。

動作環境 OS      Microsoft Windows® 98/Me 日本語版  
                          Microsoft Windows® NT 4.0 日本語版  
                          Microsoft Windows® 2000/XP 日本語版

パソコン／CPU    Pentium 90MHz 以上搭載の AT 互換機または NEC 98 シリーズ  
                          LAN・TCP/IP 通信が使用可能

メモリ容量      32MB 以上

ディスク領域    4MB 以上の空き領域 ( データは別途空き領域が必要 )

モニタ            VGA (SVGA (800 × 600) 以上推奨) ・ 256 色以上表示可能

# 困ったときには

---

## ◆ TRN-1 と通信ができない

TRN-1 と通信ができない場合、以下の確認をしてください。

- 1 Windows のスタートメニューより、MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。
- 2 ping [IP アドレス] と入力し、Enter キーを入力します。  
例) TRN-1 の IP アドレスが 192.168.1.231 の場合、以下の > 以降を入力します。

```
C:¥>ping 192.168.1.231
```

- 3 しばらくして、以下のメッセージが表示されれば問題はありません。

```
Reply from 192.168.1.231:bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.231:bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.231:bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.231:bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.231:
    Packets:Sent =4,Received =4,Lost =0 (0%loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum =0ms,Maximum =0ms,Average =0ms
```

“Reply from 192.168.1.231:bytes=32 time<10ms TTL=255” というメッセージが 4 回出力されていますが、1 回でも出力されれば OK です。

- 以下のメッセージが表示される場合、正しく接続されていない可能性があります。

```
Pinging 192.168.1.231 with 32 bytes of data:
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.231:
    Packets:Sent =4,Received =0,Lost =4 (100%loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum =0ms,Maximum =0ms,Average =0ms
```

この場合、次の項目を確認してください。

- 1 お使いになっている LAN の環境が正しく設定されていますか？

▶ LAN に関する一般的な知識および詳細については、ネットワーク管理者の方にお尋ねになるか、もしくは、市販されている LAN の専門書などを参照してください。

- 2 TRN-1 が正しく LAN に接続されていますか？

▶ LAN への接続方法については、「TRN-1 取扱説明書」を参照してください。

3 TRN-1 の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？

4 TRN-1 の動作モード設定スイッチが 0 になっていますか？

**⚠ 注意**

動作モードスイッチは 0 (通常動作モード) 以外使用しないでください。

5 TRN-1 が「仮想 COM モード」に設定されていますか？

▶ 設定方法については、「TRN-1 取扱説明書」の「TRN-1 動作モードの切り替え」を参照してください。

6 メイン画面の「宛先 IP」に、LAN アダプタ設定ユーティリティで TRN-1 に設定した IP アドレスが設定されていますか？

▶ LAN アダプタ設定ユーティリティを使った IP アドレスの設定方法については、「TRN-1 取扱説明書」の「TRN-1 の設定」を参照してください。

7 メイン画面の「COM」に、使用可能な COM ポートが指定されていますか？

▶ 設定方法については、p.7 「TRN-1 を COM ポートとして登録」を参照してください。

# MEMO



■製品に関するお問い合わせ先

株式会社 **ティアンドデイ**

〒 399-0033 長野県松本市笹賀 5652-169

TEL : 0263-27-2131

FAX : 0263-26-4281

【お問い合わせ受付時間】 月曜日～金曜日 （弊社休日は除く）

9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00

〔ホームページ〕

ホームページ「T&D Online」を開設しています。各種製品の最新情報や、イベント情報、ソフトウェアの提供、サポート案内などティアンドデイの情報を発信しています。是非ご覧ください。

**<http://www.tandd.co.jp/>**

---

## TRN-1 Driver 取扱説明書

---

2003 年 9 月 第 3 版 発行

発行 株式会社ティアンドデイ

© Copyright 2001-2003 T&D Corporation. All rights reserved.

---



古紙配合率 100%再生紙を使用しています。